

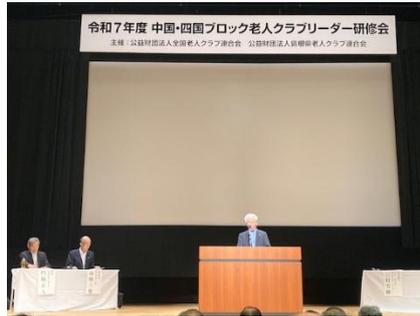


中国・四国ブロックリーダー研修会に参加しました

7月10日から11日の2日間、島根県民会館において中国・四国ブロック9県から総勢249名が参加、香川県からは9名が参加しました。研修会は3部制となっており、本県からは丸亀市城北老連 第11クラブ長の三村芳輝さんが「会員増強の取り組みと後継リーダーの育成」について事例発表されました。心のこもったすばらしい発表で参加者から活動に関する質問が相次ぎました。



香川県参加者



事例発表第3部 丸亀市城北老連 第11クラブ長 三村芳輝さん



事例発表第1部の様子



講演 小泉八雲記念館館長 小泉凡氏



交流会催し「郷土芸能」

お知らせ

◆令和7年度事業 講師派遣します
サロン等集まる機会に開催下さい

◆特殊詐欺被害防止教室

香川県警と教育隊が皆様の地域まで出向き、詐欺の手口と防止策の講習を実施します。

◆スマホ基本講座

今年度から内容をリニューアル！
高齢者に人気の防災教室と
携帯に特化した詐欺対策を実施

◆高齢者交通事故防止教室

香川県警交通安全教育推進隊が皆様の地域まで出向き、交通事故の被害者加害者にならないための講習を行います。

◆高齢者安全運転サポート事業

自動車学校の指導員が皆様自宅周辺のコースを運転指導します。

◆高齢者適性診断事業

自分の運転特性を把握し事故を未然に防止するためパソコンを使って適性診断します。



休会クラブの復活

東かがわ市 新川小松原福寿会
会長 小松 幸夫さん

はるか遠くまで広がる清々しい青空と瀬戸内海の景観が美しい東かがわ市。こののどかな町で脈々と続いてきた新川福寿会は、会長が高齢により引退したことをきっかけに解散の危機を迎えました。「老人クラブ活動はしたいけど会長にはなりたくない」という意見が多く、長い歴史に幕を下ろしかけましたが東かがわ市老人クラブ連合会及び笑話クラブの会長である富田さんがなんとか解散を避けようと、一時的に1年間、30名の会員を笑話クラブで預かることとし、その間会員は行事に参加することで活動が滞ることのないよう配慮しました。富田会長は、新しい会長と事務局長を探すため、昔からの知り合いであり5年間自治会長を務めた現小松会長と、福祉委員を務めている現向井事務局長に声をかけたものの2人とも老人クラブに入っていなかったこともあり、最初は難色を示していましたが、富田会長の「絆づくり」に対する熱意に負け、受けてくれることになりました。復活することが決まれば、令和7年4月の立ち上げに向けて一人でも会員を増やそうと、新川地区250世帯に入会の案内や行事の内容等を回覧したり、地元で行われているサロンで呼びかけをしたり、口コミで一人一人その方の好きそうな行事に誘ったりと地道な努力を重ね、クラブ名を新川小松原福寿会と称し、復活する時にはなんと会員が62名に増えていました。もともと地域のつながりが深かったことや、長く自治会長や福祉委員を務めたお二人への信頼感もあったようです。

最後に富田会長、小松会長、向井事務局長に老人クラブに対する今後の思いをお聞きしましたが、口をそろえて「やっぱり人!」「大切なのは気持ち、心」「地域高齢者の健康寿命が長らえること」とのこと。今後の活動として会員の「学びたい」という気持ちを活かし、高松市老連が行っている「いきいき大学」や、まんのう町老連の「まんのう大学」のような講座を実施したいそうです。

これまでの歩みを礎に、みなさんの熱い思いを乗せて新たに進み出した新川小松原福寿会が、今後も楽しく明るく元気に末長く活動されますように。

【令和7年6月24日 県老連事務局：吉原】